

平成30年6月認定



株式会社宮野食品工業所／新潟県



- ・豆の加工を中心とした煮豆・佃煮商品、惣菜の他、製餡技術を活かした和菓子製品を製造。
- ・設備の老朽化に加え、非効率や衛生面の立ち遅れが課題。現行工場が国道の拡張予定地となり、工場新設・商品製造ライン移設に向け、計画を策定。

①設備投資

主力商品の製造ラインの新工場移設に伴い生産性の向上と効率化を進めるため製造工程を見直し。**主力商品の製造ライン**(原料の移動・洗浄・浸漬から商品の計量・異物検査・包装まで)**を増設**。

②異なる製品間の部品や原材料の共通化

受注数減少が懸念される商品に関して、主力商品への変更等の提案を実践。

③実際原価の把握による適切な値付け

売上構成比の高い商品について実際原価を把握し、生産数、製造時間、作業時間を踏まえた製造計画を策定する。

経営力向上計画の策定による効果

- ① 製造ラインの増設による多台持ち及び多能工化の推進により、作業時間を短縮でき**生産性が50%向上**。
- ② 小ロット多品目製造を見直し、製品規格を共通化することにより**製造ロスを抑制**。
- ③ 製品ごとの利益を意識した価格設定を行い、量販店との商談時の価格条件によるロスを最小化。

また、計画認定による支援措置(「設備導入時の金融支援」及び「設備導入後の税制措置」)を活用。